

平成 23 年度

市教研・千教研（特別活動・学級経営部会）授業研

学級活動指導案

『5年3組バージョンアップ大作戦』

～そうじカレベルアップ！！～



14:00～14:40 学級活動（北棟3階—5年3組）

15:00～16:30 研究協議会（北棟3階—5年1組）

千葉大学教育学部附属小学校

5年3組 担任 鶴島 規晃

平成23年10月18日

1 題材名

「5年3組バージョンアップ大作戦～今までの清掃を見直そう～」

2 題材設定の理由

(1) 新学習指導要領より

特別活動は、望ましい集団活動や体験的な活動を通して豊かな人間性や社会性などを育成する教育活動である。その内容の1つである学級活動は、共に生活や学習に取り組む同年齢の学級を単位とした集団において行われる活動である。このような学級集団における集団活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級におけるよりよい生活づくりに参画し、学級生活の充実と向上を目指して活動するとともに、集団の中で自己を生かし、日常生活を営むために必要な行動の仕方を身につけ、自主的、実践的な態度や健全な生活態度の育成を図ることを目標としている。

新学習指導要領では、学級活動「(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」において、「勤労観」を養う観点から「エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」が加わった。学校生活において行われている清掃などの当番活動について、改めてその指導に重点をおいたものである。「先生に言われて、やらされている」のではなく、「自分たちで必要感を感じて、自らやる」意識を育てていくことが重要であると考えます。

本題材では、清掃活動を、役割を分担して自分たちの学校をきれいにする活動としておさえる他に、児童に清掃活動をとおして学級集団の一員としての在り方を考えさせ、実践させる活動としておさえない。そして、「仲間との協力する楽しさ」、「働くことが誰かのためになるという自己有用感」等を味わわせたい。そして、この清掃活動の喜びや充実感をてこととして児童一人一人に仕事を責任をもって行おうとする態度や清掃の技能を高めようとする態度へと発展させていきたい。

(2) 児童の実態・担任の願い

本学級の児童は、男子20名、女子19名の計39名の学級であり、「みんなが楽しく、笑顔で安心して過ごせるクラス」を学級目標としている。自分たちでクラスをより良くする意欲は高く、「みんなで楽しもうとすること」については、話合いでも互いにより良くしようと言いつけ合う姿も見られ、その後の活動においてもクラスの一体感を感じるが多かった。

一方で、「当たり前だけど大切なこと」についての意識が低く、清掃や給食当番などの当番活動の大切さについては児童も理解しているが、行動面からは、責任感の低さを感じる場面もあった。また、そういった場面では、こちらも指導的になってしまうことが多く、効果も持続しないのが現状であった。

児童は4年生までに「正しいほうきの使い方」の学習をしており、同時に清掃についての意義・取り組む態度等も学んできている。しかし、学習後約一年経過していたりすることからその意識も少しずつ薄らいできている。普段の清掃後の反省会などでは、協力・責任など

の生活指導あるいは道徳的な面は、よく子供たちの口から出てくるが、実態としては、「掃除はやらされるものであり、できれば楽な仕事をしたい」という気持ちの子が多く、自主性・連帯感も十分ではない。このことは、子供たちへの「掃除に関するアンケート」結果からもうかがえ、清掃についての必要性を感じている子は全員であったが、実際の取り組みについては、5段階の評価で「十分できている」と答える児童は、全体の4分の1程度であった。また、清掃に対する意識については、多くの児童が「掃除は嫌い」という意識を持っており（39人中28人）、その主な理由としては、「めんどろである」というものが多く、自主的に清掃の工夫や技術を向上しようという意識は低く、結果として苦手意識を持つことになっていると考えられる（39人中27名）。そのため、清掃の改善案についての項目でも、「きれいにするぞ」、「がんばるぞ」という精神的なものが多く、具体的にその気持ちをどう清掃に生かすか考えられる児童は少ない。清掃の改善に対するその前向きな気持ちを、「目に見える形」としてどう表せるか考えさせ、実際の清掃活動で生かさせていきたい。

【育てたい態度や能力】

<望ましい人間関係を築く力>

○自他の違いや共通性に気づき、互いの良さを認め合おうとする態度

○活動を通して、互いの思いを交流し、折り合いを付けていくことができる力

<社会参画の態度>

○自主的に話し合いに参加し、より良い案を皆で考え出そうとする態度

○みんなのために役立とうという態度

<自治的能力>

○役わり活動で自らの義務や責任を果たすことのできる力

○活動を通して、清掃の進め方や改善策など、自分の意思を集団に反映させることのできる力

これまで（7月まで）の学級活動（※1単位時間20分）

第1回 (2) 4月	学級目標を考えよう どんなクラスにしたいか考えよう
第2回 (2) 4月	学級委員・係りを決めよう どんな係が必要か、またあるとクラスが楽しくなる係について考えよう
第3回 (1) 4月	委員会を決めよう 委員会活動について知り、自分に合った委員会を決めよう
第4回 (1) 4月	実習生を迎えよう① 歓迎会の内容について話し合おう
第5回 (2) 5月	クラスのルールを作ろう クラスに必要なルールについて話し合おう
第6回 (1) 5月	運動会に向けて どうすれば「大玉送り」で優勝できるだろうか
第7回	「5年3組ルール」を作ろう

(2) 5月	クラスに必要なルールを考えよう
第8回	実習生とのお別れ会をしよう①
(1) 5月	お別れ会の内容について話し合おう
第9回	避難の仕方を確認しよう
(1) 5月	いざという時の事を考えて、訓練に臨もう
第10回	実習生を迎えよう②
(1) 5月	歓迎会の内容について話し合おう
第11回	茨城大学附属小へメッセージを送ろう
(1) 6月	どんな内容を書けば、励ましのメッセージになるだろうか
第12回	交通安全について考えよう
(1) 6月	安全に登下校するにはどうすればよいか
第13回	実習生とのお別れ会をしよう②
(1) 6月	お別れ会の内容について話し合おう
第14回	給食の過ごし方について考えよう
(1) 6月	「給食係」の訴えをみんなで聞き、改善していこう
第15回	心と体の健康について考えよう
(2) 6月	心と体のバランスはどのような関係になっているのだろうか
第16回	「5年3組ルール」を見直そう
(4) 7月	ルールについて意見交換をし、ルールを改善しよう
第17回	縁日(おたのしみ会)を開こう
(4) 7月	縁日について目的・内容・分担を決めよう みんなで縁日を“楽しもう”

3 研究仮説との関わり

部会の研究主題・研究仮説は以下の通りである。

研究主題

「自発的・自主的に行動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成」
～望ましい集団活動を通して、児童生徒の自主的・実践的な態度を育成する
指導の在り方及び学級集団をめぐる今日的な課題への対応～

研究仮説

- (1) 学級活動などの集団活動において、学級の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的につかませ、活動に取り組みせれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的な態度が育つであろう。
- (2) 学級経営を推進する上で生じる諸課題について、その原因を把握し、効果的な方法によって、適切に対応できれば、児童生徒の理解が得られ、円滑な学級経営が営まれ、集団活動が一層活発になるであろう。

学級活動については、学級に内在する問題を解決し、学級生活の向上を図るためには、児童の一人一人にその問題の存在を学級の問題として、また、自分自身の問題として気づかせることにより、積極的に問題解決に取り組もうとする態度を養う必要がある。そのためには、解決しなければならない学級の問題に気づいていない児童に対して、「自分たちの学級には、こんな問題点があったのだ」と気づかせることが課題である。

清掃活動については、やるべきことと分かっているにもかかわらず、そのことが実際の行動として自主的に行えていないのが現状である。そこで清掃活動が不十分であることに気づかせ、問題点を明らかにした上で、話し合いによって改善策を練っていけば、主体的に清掃に取り組み、達成感を味わうことができると考えた。そのために以下の手立てを考えた。

<具体的な手立て>

【問題の意識化を図る】

- ①「掃除に関するアンケート」結果の提示
- ②写真による清掃の様子提示
- ③清掃のやり方の確認（正しいやり方を指導する）

【活発な意見交換ができるようにする】

- ①話し合う形態の工夫（4人グループ→全体）
- ②話し合いシート利用（自分の考えを事前に整理しておく）
- ③話し合いへの価値付け（教師から 児童同士で）
- ④教師の支援（必要に応じた支援を行う）

【協力し合う態度を育てる】

- ①自分たちの清掃の現状を振り返り、それぞれの思いを共有させる
- ②役割分担により、自分の役割を明確にさせ、やるべきことへの責任感を持たせる
- ③道徳等で清掃の意義を考える（自分のためになること 誰かのためになること）

【自己有用感を持たせる】

- ①働くことが誰かのためになっていることの喜び、達成感を味わわせる
- ②振り返りの後の学級の成長について、随時賞賛していく（教師から 仲間同士で）

4 指導の過程

(1) 指導計画 (※1 単位時間 20 分)

月日	活動の時間	活動の主体	活動の内容
8月29日 ～9月9日	清掃の時間	教師	クラスの清掃の実態を把握する。
9月9日	朝の会	全員	クラスの振り返りアンケートを行う。 ・①友だちのこと②学習のこと③やるべきこと、でレベルアップできそうなことを記述させる。
9月13日	業間	企画委員	アンケート結果について知らせ、企画委員の考えを聞くとともに教師の思いを伝えておく。

10月12日	業間	企画委員	後期の良いスタートが切れるように「バージョンアップ大作戦」を行うことを決める。
10月12日	学活(2コマ) 〔学活(2)〕	全員	題材 「5年3組バージョンアップ大作戦」 ・後期の予定を知らせ、見通しを持たせる。 ・9月に実施したアンケート結果を見せて、現状を知らせ、問題意識を持たせる。 予想例(友だちのこと…うわさ話について) (学習のこと…発表について) (やるべき事…清掃について) ・「友だちのこと」、「学習のこと」について話し合う。 ・「やるべきこと」については、清掃を重点に置くことの良さ・必要性について教師からも話し、活動の意欲づけを行う。
10月12日 ～	清掃の時間 休み時間 授業中 帰りの会	全員	バージョンアップ大作戦の3項目に着目し、児童の様子を観察し、帰りの会で賞賛する。 ・児童同士(今日のファインプレー)で紹介させる。 ・教師から紹介する。
10月14日	朝の会	全員	「掃除についてのアンケート」をとる。
10月17日	業間	企画委員	題材の確認をする。
10月18日	学活(2コマ) 〔学活(2)〕	全員	題材 「学級の清掃の問題点を解決するにはどうすればよいか」 ・アンケート結果を示し、清掃の現状を明らかにし、問題点をつかませる。 ・解決するにはどうすればよいか考えさせる。
10月19日 ～11月1日	清掃の時間	全員	改善策を意識して、清掃を行う。
10月25日	道徳	全員	清掃の意義について考える ・ぞうきん・ほうきの正しい使い方にも触れる
11月1日	学活(2コマ) 〔学活(1)〕 本時	全員	議題「清掃の現状を振り返り、班ごとに清掃計画を考えよう」 ・改善方法について振り返り、各清掃分担場所のメンバーで話し合い、清掃計画(引き継ぎ用)を作成する。 ①清掃の流れの確認をする。 ②清掃用具、清掃分担の確認をする。 ③各分担場所での清掃目標を決める。
11月1日～ 11月30日	清掃の時間	全員	清掃計画をもとに、清掃を行う。

(2) 本時の学習

①目標

- ・清掃活動の問題点に気づかせ、話し合いによって解決策を出し、協力して清掃活動を行おうとする態度を育てる。

②展開

学習活動と予想される反応	○指導上の留意点（☆主な手立て）	資料等
<p>1. 本時が「5年3組バージョンアップ大作戦」の一環であることを確認する。</p> <p>2. 学級の清掃を知り、問題点を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまりよくできていないなあ。 ・やらなきゃいけないとは分かっているけど、めんどうなんだよね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ①気持ちの問題 「めんどうである」 ②技術の問題 「やり方が分からない」 ③進め方やきまりの問題 </div> <p>3. 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○指導上の留意点（☆主な手立て）</p> <p>○これまでの取り組みについて賞賛し、本時への意欲を高める。</p> <p>☆「清掃についてのアンケート」結果を示し、清掃に対する現状を知らせる。</p> <p>○清掃に対する意識の低さとその原因について確認させる。</p> <p>○個人とクラスの意識のズレについても触れ、原因を考えさせる。</p> <p>○良くできている点についても触れる。</p>	<p>資料等</p> <p>提示物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果
<p>これまでの掃除について、自分達の問題点を解決するにはどうすればよいか</p>		
<p>4. アンケート中の解決策の中で多かった「がんばるぞ」、「きれいにするぞ」とは、具体的に何をどうすればよいか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ①4人グループ ②全体 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「がんばる」ってどういうことかなあ。 ・無駄話しはだめだけど、みんなで声を掛け合うのはいいよね。 ・汗をかくっていうのも分かりやすいね。 ・「きれいにする」とはどういう姿かあ。 ・うでまくりをすとかどうかあ。 ・1つ終わったら、次もきれいにしようと思えばいいんじゃないかな。 	<p>○「きれいにするぞ」、「がんばるぞ」を目に見える形にするにはどうすればよいか投げかける。</p> <p>☆4人グループで考えを交流させる。</p> <p>☆考えに詰まった時は、事前に「掃除アンケート」に書いた自分の考えも生かすように助言する。</p> <p>☆話し合いの経過を見守り、状況に応じた支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流が順調な時→状況を見守る。 ・交流で意見がぶつかった時→基本的には見守り、最低限の助言を行う。 ・交流が成り立たない時→介入し、話し合いのめあてや目的について再確認をさせる。 <p>☞自分たちの清掃の問題点の改善策を考え出すことができる。</p> <p>（思：発言、ワークシート）</p>	<p>「掃除アンケート」結果</p> <p>ワークシート</p>

<p>5. 清掃後の様子（きれいな様子 汚れている様子）の写真を見比べて、きれいな状態を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>写真資料</p> <p>①ぞうきんがけの後（拭き残し）</p> <p>②窓枠やゴミ箱の下の様子（掃き残し）</p> <p>③ほうきの様子（後始末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・こうなればいいんだ。 ・ここはやっていなかったな。ついついめんどくさいと思ってしまうんだよね。 <p>6. 改善案を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに声を掛け合おうね。 ・ぼーっとしていないようにしましょう。 ・がんばりを「目に見える」ようにするには、まずは服装だね。 ・雑巾の絞り方も確認しよう。 ・自分の分担が終わったら、他の人の所も手伝えばいいんだ。 <p>7. 決定したことを確認し、振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沢山意見が出し合えて良かった。 ・早速、明日の清掃で生かしたいと思います。 ・汗をかくことを目標にしよう。 ・私は、時間に遅れないようにします。 ・「めんどくさい」に負けないようにするぞ。 <p>8. 先生の話</p>	<p>○2枚の写真の違いは何か、投げかける。</p> <p>☆きれいな状態はどういうものか、どんなところを見落としているか確認させる。</p> <p>☆分かっている、つい「めんどくさい」と思ってしまう気持ちを出させる。</p> <p>☆きれいな状態の気持ちよさに気づかせる。</p> <p>☆改善策を出す際には、4人グループで意見交換したことや写真資料を見て分かったことを生かすよう促す。</p> <p>○意見が出にくい時には、日常の様子からきっかけを与える。</p> <p>○本時の活動を振り返り、感想を振り返りシートに記入させる。</p> <p>○友だちの発表で良かった点について交流させ、互いの良さを認められるようにする。</p> <p>○清掃をすることは、自分、そして誰かにとってもよいことであることを再度確認し、自分たちの行っていることに自信を持たせる。</p>	<p>写真資料</p> <p>振り返りシート</p>
--	--	----------------------------